

講演

- 演題 -

OECD Education 2030
プロジェクトが描く
教育の未来



文部科学省国際統括官付
国際戦略企画官
国立教育政策研究所フェロー

白井 俊 先生

申込方法

1月20日(金)までに、右のQRコードから、必要事項を入力の上、お申し込みください。

※ 参加可能人数には上限があります。お早めにお申し込みください。



参加費

2,000円

(資料代を含む)

上記方法にてお申込の後、銀行振込にてご入金ください。

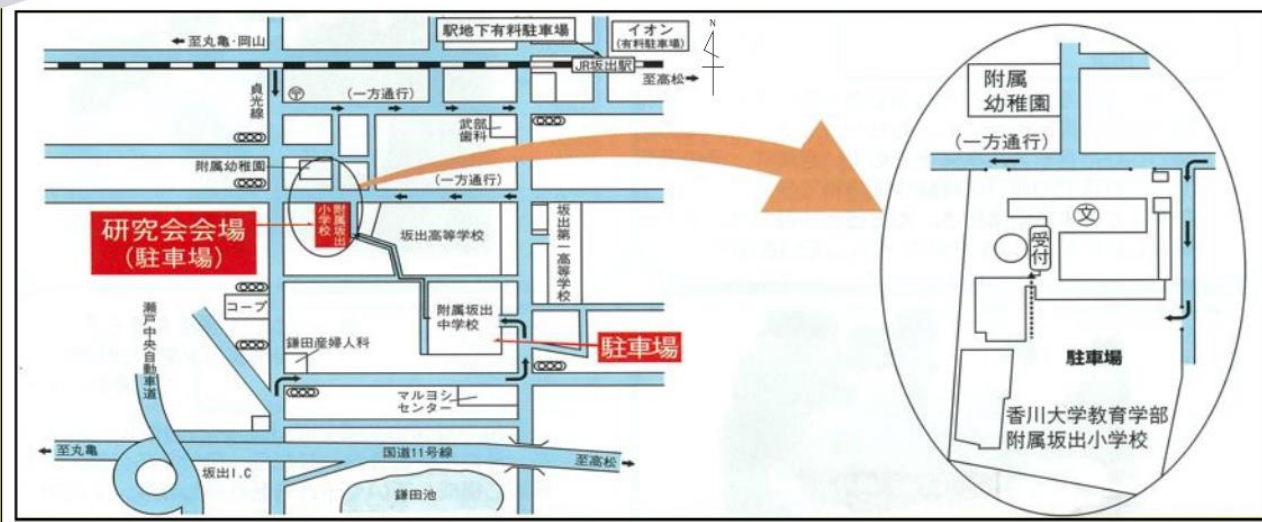
※ 振り込み後の返金は致しかねます。資料の発送をもって代えさせていただきます。
※ 一度につき、3人以上のお申込をいただいた場合は、団体割引があります。

昼食

お弁当などの販売はしておりません。ご自身でご用意いただくか、近くの飲食店・コンビニエンスストアなどをご利用ください(持ち込みは可能です)。

本校の位置

- JRをご利用の場合 JR坂出駅下車、南口より徒歩で約10分
- お車で越越しの場合 坂出ICを出た後、北へ約5分



駐車場

附属坂出小学校および、附属坂出中学校(徒歩約5分)の運動場をご利用ください。

駐車場が満車となる場合がありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

お知らせ

本年度は、参集での開催を予定しています。

新型コロナウイルスの感染状況によっては、開催方法などが変更になる恐れがあります。そのような場合にはホームページ等にて、随時お知らせいたします。

本校の研究について さらに詳しく知りたい方へ

本校ホームページには、研究概要図や、これまでの実践の指導案や実践報告等を載せています。

また、各種SNSでは日々の教育活動の様子を掲載しています。興味のある方はぜひご覧ください。



本校 HP



本校 Facebook



本校 Instagram

【お問い合わせ】

香川大学教育学部附属坂出小学校 研究部

〒762-0031

香川県坂出市文京町二丁目4番2号

Tel:0877-46-2692 Fax:0877-46-5218

Mail:sakashokenkyu@kagawa-u.ac.jp

第103回 教育研究発表会(2次案内)

-研究主題-

自ら伸び続ける子供の育成(2年次)
～個に応じて、「さ・ぬ・き力(非認知能力)」
を育てる環境づくり～

さっする力

ぬり替える力

きもちを
整える力

令和5年1月27日(金)



香川大学教育学部
附属坂出小学校

8:30	9:00	9:45	10:00	10:45	11:00	12:00	13:00	13:10	13:30	13:45	14:30	14:45	15:45	16:00	16:50	17:00
受付	授業Ⅰ	移動 休憩	授業Ⅱ	移動 休憩	授業討議Ⅰ・Ⅱ	昼食	開 会 行 事	全体 提案	移動 休憩	授業Ⅲ	移動 休憩	授業討議Ⅲ	移動 休憩	講演	閉 会 行 事	

3年

国語科

家造りで大切にしたいことを紹介しよう
 ～『人をつつむ形ー世界の家めぐり』～
 小出 早織

『人をつつむ形』を読んで、世界の家に興味をもった子供たちは、筆者の考えを基に、自分の理想の家造りのポイントについて考えていきます。本時では、自分の家造りのポイントをより自分の生活や理想に合ったものにするために、セネガルの家の造りについて読み取り、友達と話し合いながら、粘り強く考えていきます。



5年

社会科

多くの人に楽しく便利な観光を
 届ける情報通信技術
 滝井 康隆

観光業における情報通信技術活用の在り方について明らかにするために、コロナ禍に生まれた新たな旅行であるオンラインツアーへの参加者が増えている理由を考えていきます。観光客、旅行会社、観光地の三つの立場からその理由について友達と話し合う活動を通して、多様な面からオンラインツアーの価値を考えていきます。

5年

音楽科

『かえるの合唱』の変奏をつくろう
 ～『ます』の鑑賞の学びを生かして～
 高塚 仁志

『ます』の鑑賞で、曲想及びその変化と音楽の構造との関わりの視点で変奏曲のよさを味わった子供たちは、そこで学んだことを生かして『かえるの合唱』の変奏をつくっていきます。1人1台端末を活用して、いろいろな演奏方法を何度も試すことで、より自分の思いや意図に合った変奏にしていきます。

6年

理科

水溶液は危険だが役に立つ！
 ～水溶液の性質とはたらき～
 竹森 大介

複数の水溶液を比較することで、自ら問いを見いだした子供たちは、様々な器具や方法を用いて、水溶液の性質や働きについて調べていきます。身の回りの水溶液に興味を広げながら、繰り返し実験したり、複数の結果を基に考察したりして考えを深め、学んだことを実生活に生かしていこうとする姿を目指します。

1年

体育科

チャンスを見つけて、モンスターを
 狙え！ ～ボールゲーム～
 安岐 美佐子 支援員:内田 珠世

的にボールを当てるゲームで得点する楽しさを感じた子供たちは、どうすればたくさん得点できるのかを考えていきます。攻め方を見付ければ得点が増えることを経験し、単元を通して蓄積した攻め方を何度も試したり、友達と得点できた攻め方を紹介し合ったりして、より得点できそうな攻め方を見付け、得点を重ねていきます。

5年

算数科

データを集めて身の回りの問題を
 解決しよう ～割合のグラフ～
 矢野 利幸

全校生の意見を生かした6年生を送る会を企画しようと考えた子供たちは、全校生の希望する遊びのデータを収集し、多様な観点でグラフをつくります。本時は、それらを比べて特徴や傾向を捉え、友達と話し合うことで、より多面的に分析していきます。そして、それを基に、自分なりに納得できる結論を出していきます。

5年

理科

マイ電磁石で釣り上げろ！
 ～電流が生み出す力～
 増田 洸一

電磁石を使った魚釣りゲームを通して、「狙った魚を釣るためにはどうしたらいいだろう」と自ら問いを見いだした子供たちは、マイ電磁石の改良計画案を作成していきます。それを基に実験した結果から、考察したことを進んで友達と交流しながら、マイ電磁石をパワーアップさせる方法を発見し、電磁石の性質を捉えていきます。



6年

国語科

物語から感じたメッセージを
 伝え合おう ～『海の命』～
 東 泰右

『海の命』を読んで、「なぜ、太一は瀬の主を打たなかったのだろう」などの問いをもった子供たちは、それらの問いについて深く考えることを通して、物語から感じたメッセージをまとめていきます。本時では、メッセージについて友達と交流したり、納得のいくまで自分の考えを見つめ直したりしていきます。

1年

算数科

すごろくゲームを通して数の世界
 を広げよう ～大きなかず～
 井下 修一 支援員:平野 燈

大きな数ですごろくゲームを楽しみたいと考えた子供たちは、止まったマスの数の数え方や表し方、大きさの比べ方の問題を解決しながら数感覚を豊かにしていきます。本時は、止まったマスの数を、数の規則性を基に、空欄のある数表に書き、その答えの妥当性を繰り返し確かめ合う中で、一つの数を多面的に捉えていきます。

2年

国語科

おすすめの遊びの
 魅力を紹介しよう
 岡根 平

お楽しみ会でどんな遊びをするかを決めるために「自分のおすすめの遊びの魅力を紹介したい」と考えた子供たちは、その魅力を相手に伝える順序について吟味していきます。事柄の順序を何度も入れ替えたり、その順序にした理由を友達と交流したりすることを通して、魅力がより相手に伝わる紹介について考えていきます。



4年

体育科

フワックルッピタッ 台上前転
 ～器械運動～
 藤井 康裕

「自分が目指す台上前転をするためにはどうすればよいか」という問いをもち、様々な練習の場を経験した子供たちは、本時は、自分の課題にあった場を選んで練習に励んでいきます。踏切りや手を着く位置など、これまでに学んだ台上前転の動きのポイントを活用しながら、相手の立場に立ってアドバイスし合う姿を目指します。

6年

社会科

世界の人々の命と未来を守る支援
 ～現地の人々と共に～
 網野 未来

世界には安全な生活を送れない子供たちがいることを知り、子供たちの命を守るための国際機関や日本の取組を調べていきます。本時では、水質浄化剤を製造販売する会社の小田さんが、現地の人に水の浄化から販売までの仕事を任せている理由について複数の立場から考えたことを話し合い、その取組の価値を考えていきます。

2年

図画工作科

挑戦！とろとろ絵の具ビッグアート
 毛利 二実子 支援員:内田 珠世

液体粘土と絵の具を混ぜた「とろとろ絵の具」の面白さを味わい、「もっと大きな絵を描きたい」という思いを高めた子供たちは、描きたいもののイメージを膨らませて、グループで「ビッグアート」に挑戦します。表したいものを表現するために、友達と対話しながら、多様な工夫を試して、製作に取り組んでいきます。



3年

理科

マグネット・フェスティバル
 ～磁石の性質～
 米谷 直樹

磁石を使ったおもちゃで遊ぶ活動を通して問いを見いだした子供たちは、「マグネット・トイを作ろう」というゴールに向けて、磁石の性質を明らかにしていきます。本時は、磁石に付けた鉄は磁石になるのかを、マグチップや方位磁針など、様々な道具を使いながら検証し、磁石の性質についての理解を深めていきます。

4年

道徳科

広い心で接するために
 【B相互理解 寛容】～『へらぶなつり』～
 好井 佑馬

相手を許す心の有り様について、教材文の人物が相手を許せた気持ちを想像したり、友達と話し合ったりすることを通して、多面的・多角的に考えていきます。本時の学びから、これから相手を許すために大切にしたいことを考え、日常生活で自制心や共感性等を発揮し、よりよい人間関係をつくっていこうとする姿を目指します。

保健室経営

(実践提案)

ライフスキル学習の推進
 村上 絢子

一つの型にはまった生き方ではなく、子供一人一人が自分の気質をポジティブに理解し、それを生かして、自らに応じた方法で生き抜くライフスキルを習得させる授業を提案します。自己肯定感を高め、さらには非認知能力を育てるライフスキル学習を体験しながら一緒に考えましょう。

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、各授業の参加人数には制限を設けています。